

2021(令和3)年度 部局マニフェスト

～私たちの組織使命と目標～

部局名	消防本部
役職	消防長
氏名	林 浩己
2021(令和3)年度の抱負	災害時の対応力の強化と消防力の充実を図ります。



業績目標の達成状況 5. 先進的な取り組みを行い、成果があった 4. 達成水準を上回る成果があった 3. 業績目標を達成した 2. 取り組んだが、業績目標を達成しなかった 1. 業績目標に取り組まなかった
--

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段
◎部局目標1			
消防体制の充実強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑、多様化、大規模化する災害に対応する持続可能な消防行政サービスの提供 	<p>〈現在の状態〉 人口減少・少子高齢化する中でも、複雑多様化・大規模化する災害への対応が必要である。</p> <p>↓</p> <p>〈達成目標〉 組織再編計画を改訂するとともに、名張消防本部との連携・協力協議会を発足させる。</p> <p>※目標が達成した状態 効率化を図り、持続可能な常備消防体制を構築し、消防力を充実・強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伊賀市消防本部組織検討委員会及び名張市消防本部との伊賀・名張連携協力検討委員会において検討する。
◎部局目標2			
予防体制の充実強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅防火対策の促進 ・高齢者世帯への防火診断 	<p>〈現在の状態〉 特に高齢者宅で発生する住宅火災が多くこれに伴う死傷者が多い。</p> <p>↓</p> <p>〈達成目標〉 住宅火災件数：R2年12件からの軽減</p> <p>※目標が達成した状態 死者数の抑制、被害の軽減される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報等で周知及び普及啓発を図る。 ・高齢者や介護事業関係者等に対し火災予防啓発を行う。 ・関係機関と連携して高齢者宅を訪問し効果的な啓発活動をする。

達成状況(自己評価)	理由
3	名張消防との連携協力において、通信指令業務、予防、警防業務について、予定どおり進めている。
3	コロナ禍の中、出来る範囲で広報や防火訪問を実施しており、今年度は、住宅火災がR2年(4月～11月)7件と比較して1件減少しているのので、現在の所、一定の成果が出ていると判断しています。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標3					
事業所での火災等災害被害の軽減を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所や危険物施設(ガソリンスタンド等)への立入検査の強化、防火管理体制の充実 	<p>〈現在の状態〉 法令等に違反している火災等の災害発生危険がある事業所が存在する。 ↓ 〈達成目標〉 事業所の火災: R2年6件からの軽減</p> <p>※目標が達成した状態 火災等による被害から軽減される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重大な消防法令違反がある事業所等に対し消防法令上の権限を適切に行使し、違反是正に取り組む。 ・事業所及び危険物施設において、適切な管理・運用がされるよう、立入検査を行い管理と定期点検の徹底を指導する。 	2	法令違反の事業所において、違反是正に取り組んでいます。また、事業所への立ち入り検査での指導を実施していますが、事業所での火災が増加(R2年2件→R3年7件)している。
◎部局目標4					
救急・救助体制の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・救急・救助隊員に対する研修・訓練の実施 ・応急手当を実施できる市民を増やす 	<p>〈現在の状態〉 ・感染症の拡大など多様化する災害が発生する可能性がある。 ・コロナ禍による救命講習開催の減少(R2年1853人受講) ↓ 〈達成目標〉 ・症例検討会3回、事後検証会20回、フィードバック研修・訓練等 4回 ・メディア向けの応急手当の方法を作成し、ホームページ等に掲載し公表する。</p> <p>※目標が達成した状態 ・研修・訓練を通じて職員の能力が向上する。 ・居合わせた人の救命手当の実施率が向上する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・症例検討会や研修会の開催、事後検証を通じたフィードバック研修・訓練等に取り組む。 ・救命講習の開催、ホームページ、広報、メディア等を利用した応急手当の周知 	3	コロナ禍の中、救急隊の教育はある程度、達成できたが、人と人の距離が近くなる実技中心の救命講習などは、開催が難しい状況が続いたため、実施回数の減少が見られた。 救命手当の実施率は、わずかではあるが向上が見られた。
◎部局目標5					
消防団を中核とした地域防災力を確保します。	<ul style="list-style-type: none"> ・消防施設、消防資機材を最適化します。 ・消防団員の適正配置を行います。 	<p>〈現在の状態〉 地域によって消防施設、消防資機材、消防団員数に違いがあります。 ↓ 〈達成目標〉 消防施設、消防資機材、団員数の基準を明確にして、地域格差を是正します。</p> <p>※目標が達成した状態 地域防災力の確保と消防団員の処遇改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団と協議検討を行い、地域の理解を得て、伊賀市消防団活性化計画を策定し、その計画に基づき地域防災力を確保していきます。 	3	消防団と消防本務で、伊賀市消防団活性化検討委員会を設定し協議を行い、令和5年度からの「第3次伊賀市消防団活性化計画」(案)を策定し、地域説明を進めている。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段
◎部局目標6			
講習・訓練等における外国人に対する取組みを進めます。	・増加する外国人住民への災害時対応と多文化共生の地域づくりについて	<p>〈現在の状態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の約6%を占め、増加する外国人住民の災害時の対応が必要である。 <p>↓</p> <p>〈達成目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急講習回数:10回実施 ・防災訓練(消火訓練・通報訓練):10回実施 ・リーフレットによる啓発:500枚を配布 <p>※目標が達成した状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民の災害時の被害が軽減する。 ・救命講習受講者が増えことで救命手当の実施率が向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳を通じての救急講習の開催 ・消火訓練、119番の通報要領、住宅用火災警報器等の説明を実施する。 ・各言語のリーフレットを関係機関と協力して作成し配布する。

達成状況(自己評価)	理由
2	リーフレットを配布した。関係機関と今後の進め方について協議中であり、具体的な訓練等は、まだ実施できていない。